



平成29年度 西原台小グランドデザイン

鹿屋市立西原台小学校

校訓 **強く 正しく たくましく**

<学校教育目標>

豊かな感性をもち、自ら学び、知恵を育み、心身ともにたくましく生きる力をもつ子どもの育成

具体目標

- (1) 親切で礼儀正しい子どもを育てる。
- (2) 偏見をなくし、差別をしない思いやりで満ちた子どもを育てる。
- (3) 自ら進んで学習し、広い視野に立って相互に学び合い、考える子どもを育てる。
- (4) きまりを守り、最後までがんばりぬく子どもを育てる。
- (5) 明るく健康で、たくましい子どもを育てる。



<めざす家庭像>

- 1 わが子のよさを認め励ます家庭
- 2 家族の一員としての自覚を促す家庭
- 3 温かい挨拶のある家庭

○ 基本的生活習慣の確立

- ・親子の挨拶
- ・「はちつばね」
- ・「早寝・早起き 朝ご飯」「排便」

○ 家庭学習の定着

- ・家庭学習の定着
- ・学習時間の確保(学年ごとに設定)
- ・読書の励行(読書 20 分運動)

○ 体験活動の共有

- ・学校や地域行事への積極的参加
- ・家族の一員としての役割分担
- ・「一家庭一実践」

<西原台小児童憲章>

～JRCの精神を基に～

- 1 自分から勉強する台小の子
- 2 ルールを守る台小の子
- 3 あいさつができてやさしい台小の子
- 4 仲よく助け合う台小の子
- 5 明るく元気な台小の子

<本校の教育課題>

課題①

- ・他者の考え方や自他の生命を尊重する深い人間愛、情操豊かでより実践力のある児童の育成

課題②

- ・基礎的・基本的な内容を確実に身に付け、思考力や判断力・表現力を伸ばし、主体的に問題解決に取り組む児童の育成

課題③

- ・たくましい体力や心づくりに積極的に取り組む児童の育成

<基本的な指導のあり方>

子ども一人一人にやる気・意欲をもたせ『学ぶ楽しさ』を育む

「まず、自分でやってみて、活動を振り返ろう」<体験的な学習活動の重視>

【課題をつかむ】→【試行する】→【問題の焦点化】→【自力解決】→【相互解決】
→【適用】→【振り返り】→【更なる課題へ】の問題解決的学習過程を重視して
※ 各過程での言語活動の位置付け ※ 考えのよさや相違点の明確化
※ 考えの関連付け ※ 既習事項の活用
※ 自己評価・相互評価の場の設定

『花と緑の森 潤いと活気のある楽しい学校』

学校の花《ひまわり》

《学校力向上プログラム》

プログラムその1「体験して 考えて 楽しく学ぶ 西原台小」

- ・個に応じた指導や少人数指導を積極的に進めます。(個別の指導や補充指導、体験学習の推進)
- ・各教科の言語活動を充実します。(子どもが主体的に学習する活動25分確保)(あと1間、あと1文字へのチャレンジ)
- ・学習指導強調月間(6・11・2月)の指導の充実を図ります。(学業指導マニュアルの活用)
- ・学年に応じた家庭学習の定着をすすめます。
・・・概ね(学年×10+20)分をめざす
- ・特別支援教育の充実を努めます。(支援学級・通級教室の充実、支援員による適切な支援)

プログラムその2「温かい心と仲間づくりの西原台小」

- ・子どもが楽しく学校生活を送ることができるよう努力します。(『なかよしアンケート』の実施と相談)
- ・一人一人の人権を大切にします。(認め合う他者理解、思いやりのある温かい言葉かけ)
- ・児童・教師のふれあいの場の醸成を図ります。(仲間づくり・学級づくり)
- ・教育相談を積極的に進めます。

安全で、子どもたちを温かく見守る地域

○ PTA活動

- ・年間を通したあいさつ運動

○ 地域ぐるみの防犯と安全指導

- ・危険箇所マップ
- ・子ども110番の家
- ・スクールガード(西原台小安全守り隊)

○ コミュニティー活動

- ・子ども会育成会活動
- ・おやじの会や家庭教育学級の活動

プログラムその3

「夢をふくらませる西原台小」

- ・夢や希望の実現のための具体的な方策をもたせ、学年の発達段階に応じたキャリア教育を進めます。
- ・「わたしの夢・ぼくの夢カード」による学校と家庭との連携
- ・子どもが、自分のよさを知り、他者とコミュニケーションを積極的に図れる活動の工夫と充実を図ります。(自己有用感・コミュニケーション能力の醸成、ボランティア活動の推進)

プログラムその4

「たくましい体と安全を守る西原台小」

- ・体育科学習を中心に運動好きな子どもを育てます。(25分運動)
- ・運動能力の向上と仲間づくりをめざした体力づくりに努めます。「チャレンジ鹿児島」への取組、持久走・縄跳びなど個々の運動の継続
- ・安全に絶えず配慮し、危険予知・予測・回避能力の育成に努めます。(安全指導、KYTによる予知・回避能力の育成)
- ・安全な登下校に努めます。(西原台小安全守り隊との連携)
- ・性に関する指導に努めます。

プログラムその5

「地域とともにつながる西原台小」

- ・地域のよさを実感させる特色ある教育活動を展開します。(総合的な学習の時間、生活科等での学習の成果発表)
- ・地域人材の活用や学校の教育力(施設・人材)の還元を図ります。(学校応援団、各機関・幼小中との連携によるコミュニティの醸成)
- ・保護者参加及び支援による学習活動をすすめます。(児童とともに学び合う)
- ・大隅学舎・幼稚園等との連携を充実します。